

五竜岳

～遠見尾根ピストン～

2016年5月4日～2016年5月5日（1泊2日）

L：磯部 S、廣瀬、トモ、久保田 j（記）

5月4日（水）曇りのち晴れ

出発前日にリーダーから連絡が入る。悪天候により計画変更だ。3日夜から4日未明にかけて暴風雨の予報との事。五竜から唐松の縦走2泊3日を五竜ピストン1泊2日に変更となった。

朝4時にまだ雨の降る中を浜松を出るがエスカルプラザに到着時には上がる。ゴンドラを降り、乗り継ぐはずのリフトが今年雪が少なく予定より早くスキー場が閉鎖していた為、アルプス平駅から歩き出した。小遠見山までは夏道が所々に出ていて5月の日差しの中を進む。

西遠見山の手前でテントを張る。水を作って落ち着くとお待ちかね食担のH氏による夕食。伊阿風の豆料理でとても美味しかった。夜になると次第に風が出てきて、就寝中も何度か強い風にテントを揺らされた。

<1日目 タイム>

10:30 トレキャビン アルプス平駅

12:00 小遠見山

14:00 大遠見山

15:00 幕営地



（小遠見山から五竜岳を眺める）



（中遠見山へ向かう）

5月5日(木) 曇り時々晴れ

朝4時に起床してからも時々吹く強い風は続いていたが曇り空の中、山頂を目指す事になった。順調に西遠見山と中岳を通過していくが次第に風が強さを増してゆく。

五竜山荘に着いた時の気温はマイナス2度でヒョウまで降り始める始末。止むことのない強風に手の小指がジンジンとして感覚が薄れていた。リーダーもこの時、凍傷の一步手前になりかけていたようだ。

手袋の中でグローブとしばらく動かしていたら回復したが5月と言えども雪山、自然の厳しさを目の当たりにした出来事であった。核心の雪壁も登りは難なくクリアで登頂。山頂は半分ガスに包まれていたが強風の中登頂できた事で達成感に満ちていた。

下り始めは雪壁をバックステップで降りる。私と新人のIさんはリーダーにロープで確保してもらい、登りでは感じなかった高度感に緊張しながら一步一步降りた。緊張の連続と時々突風がヒョウを顔に打付けて痛かったが山荘まで降りると少し安心する。さすがゴールデンウィークでこの天候でも数パーティの登山者とすれ違う。

テントを回収し、ここでアゼソも外す。中遠見山から小遠見山へ向かう途中、雪が解けて滑りやすくなった斜面に差し掛かると新人のIさんが滑落しかけた。すぐに停止できたので大事には至らなかったが油断は禁物である。ここはベテランH氏に先導してステップをきってもらおう。下ってくるというの間に

か天候は晴れていて3時間前の冬の形相がうそのように暑く汗ばんだ。風の影響で心配していたゴンドラも運行していて無事に車へ戻る。

今回は計画の変更で日程が短くなったものの内容の濃い山行で充実した連休でした。

<2日目 タイム>

5:30 幕営地

8:00 五竜岳山荘

9:20 五竜岳

15:30 テレキャビン アルプス平駅



(五竜岳 山頂)



(テント場)